

2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
コード番号 7625 URL <https://www.global-dining.com/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長谷川 耕造
問合せ先責任者（役職名） 執行役員最高財務責任者（氏名） 中澤 海輝（TEL）050-5443-1028
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	7,109	11.1	620	231.1	649	459.9	510	—
2025年12月期中間期	6,402	10.8	187	△53.1	115	△70.7	10	△97.8

（注）包括利益 2026年12月期中間期 585百万円（—％） 2025年12月期中間期 △146百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	48.97	48.73
2025年12月期中間期	1.03	1.03

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	11,602	6,167	52.9
2025年12月期	11,166	5,632	50.2

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 6,141百万円 2025年12月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	14,032	2.7	948	37.9	962	45.8	689	124.0
								66.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	10,421,300株	2025年12月期	10,421,300株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	731株	2025年12月期	731株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	10,420,569株	2025年12月期中間期	10,415,803株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、2026年8月7日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、円安等による物価上昇の継続、不安定な国際情勢や米国の通商政策などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調を維持しておりますが、原材料価格やエネルギー価格の高止まりに加え、人手不足の深刻化や人件費の上昇、消費者の節約志向の高まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当社は、人材が育ち組織全体が活性化したラ・ボエム(イタリアン業態)と、インバウンド・住宅立地ともに堅調な権八(和食業態)が業績を牽引しました。また、昨年グランドオープンした栃木県那須塩原市の「那須パラダイスヴィレッジ」(宿泊設備付き複合施設)については、長期目線で事業の立ち上げと収益化を目指すなか、地域密着型による安定稼働実現に向けて、認知度向上とリピートを生み出すサービスやコンテンツ開発に注力しました。そのほか、愛知県の「ららぽーと愛知東郷」内にありました「ラ・ボエムパスタフレスカ」と「モンスーンカフェ」の2店舗は、収益改善が見込めないため1月に閉店いたしました。

米国子会社におきましては、当社のCEO・CFOが米国のCEO・CFOを兼務するという経営体制に刷新いたしました。管理体制の強化、並びに国内のナレッジを投入することで、通期黒字化の実現に向けて邁進してまいります。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は、71億9百万円(前年同期比11.1%増)となり、当中間連結会計期間末の総店舗数は46店舗となりました。

損益につきましては、営業利益は6億20百万円(前年同期比231.1%増)、経常利益は6億49百万円(前年同期比459.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億10百万円(前年同期比4,634.0%増)となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト(営業形態)別にみると、「ラ・ボエム」は17億48百万円(前年同期比13.8%増)、「ゼスト」は2億60百万円(同10.1%増)、「モンスーンカフェ」は9億93百万円(同1.3%減)、「権八」は17億57百万円(同3.7%増)、「ディナーレストラン」は9億92百万円(同13.6%増)、「その他」は13億57百万円(同28.9%増)となりました。既存店売上高につきましては前年同期比で11.2%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4億36百万円増加し、116億2百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して5億18百万円増加し、26億56百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が7億83百万円増加した一方で、売掛金が2億13百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して81百万円減少し、89億45百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産が純額で70百万円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して98百万円減少し、54億35百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億35百万円減少し、18億65百万円となりました。主な変動要因は、未払金が1億円、未払法人税等が1億3百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して2億36百万円増加し、35億69百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が2億15百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して5億34百万円増加し、61億67百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が4億58百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して2.7ポイント上昇して52.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して7億83百万円増加し、16億73百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益6億49百万円、減価償却費2億37百万円、法人税等の支払額2億42百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は、7億37百万円(前年同期は5億53百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億3百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は1億2百万円(前年同期は8億29百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減額52百万円、長期借入れによる収入5億円、長期借入金の返済による支出2億58百万円などにより、財務活動の結果得られた資金は1億34百万円(前年同期は1億63百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月12日に公表いたしました「2025年12月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	890,559	1,674,409
売掛金	686,253	472,405
商品及び製品	22,539	19,537
原材料及び貯蔵品	311,595	275,771
その他	227,340	214,438
流動資産合計	2,138,288	2,656,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,775,925	10,848,129
減価償却累計額	△5,884,831	△6,073,215
減損損失累計額	△899,210	△871,759
建物及び構築物(純額)	3,991,883	3,903,155
土地	2,942,526	2,980,888
その他	913,633	893,980
有形固定資産合計	7,848,043	7,778,024
無形固定資産	7,019	5,636
投資その他の資産		
差入保証金	1,098,493	1,079,181
その他	74,334	83,124
投資その他の資産合計	1,172,827	1,162,305
固定資産合計	9,027,890	8,945,966
資産合計	11,166,179	11,602,529

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,867	302,716
短期借入金	52,600	-
1年内返済予定の長期借入金	415,516	441,622
未払法人税等	242,679	138,831
資産除去債務	40,578	11,000
その他	1,047,552	971,567
流動負債合計	2,200,794	1,865,737
固定負債		
長期借入金	1,770,900	1,986,607
退職給付に係る負債	59,234	62,812
資産除去債務	1,102,078	1,111,399
その他	400,558	408,446
固定負債合計	3,332,771	3,569,265
負債合計	5,533,566	5,435,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,101	49,101
資本剰余金	2,149,058	2,149,058
利益剰余金	2,939,820	3,398,037
自己株式	△357	△357
株主資本合計	5,137,622	5,595,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,581	38,630
為替換算調整勘定	441,404	507,430
その他の包括利益累計額合計	470,985	546,061
新株予約権	24,004	25,625
純資産合計	5,632,613	6,167,526
負債純資産合計	11,166,179	11,602,529

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,402,068	7,109,812
売上原価	5,595,519	5,780,497
売上総利益	806,548	1,329,314
販売費及び一般管理費	619,300	709,277
営業利益	187,248	620,037
営業外収益		
為替差益	-	24,886
設備賃貸料	5,475	12,041
その他	11,061	12,905
営業外収益合計	16,537	49,833
営業外費用		
支払利息	20,415	20,021
為替差損	56,705	-
その他	10,685	424
営業外費用合計	87,806	20,446
経常利益	115,979	649,425
特別損失		
減損損失	2,372	-
店舗閉鎖損失	875	-
特別損失合計	3,248	-
税金等調整前中間純利益	112,730	649,425
法人税、住民税及び事業税	101,950	139,105
法人税等合計	101,950	139,105
中間純利益	10,779	510,319
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	10,779	510,319

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	10,779	510,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,285	9,049
為替換算調整勘定	△158,824	66,026
その他の包括利益合計	△157,539	75,075
中間包括利益	△146,759	585,395
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△146,759	585,395
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	112,730	649,425
減価償却費	199,679	237,743
受取利息及び受取配当金	△2,368	△6,273
支払利息	20,415	20,021
為替差損益(△は益)	56,705	△24,886
減損損失	2,372	-
店舗閉鎖損失	875	-
売上債権の増減額(△は増加)	112,252	215,044
前渡金の増減額(△は増加)	23,864	△13,228
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,226	40,021
未収入金の増減額(△は増加)	47,107	523
仕入債務の増減額(△は減少)	△87,379	△99,314
未払金の増減額(△は減少)	△67,667	△78,158
未払費用の増減額(△は減少)	42,490	18,042
未払消費税等の増減額(△は減少)	39,903	△9,436
その他	88,958	45,962
小計	600,165	995,485
利息及び配当金の受取額	1,962	7,027
利息の支払額	△21,567	△21,846
法人税等の支払額	△27,083	△242,953
法人税等の還付額	5	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,483	737,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△828,994	△103,109
差入保証金の差入による支出	△723	-
差入保証金の回収による収入	-	181
その他	167	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△829,550	△102,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	118,600	△52,600
長期借入れによる収入	300,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△247,504	△258,187
配当金の支払額	-	△51,865
リース債務の返済による支出	△10,564	△2,766
ストックオプションの行使による収入	3,140	-
その他	-	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,671	134,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,180	14,440
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△128,576	783,801
現金及び現金同等物の期首残高	788,912	889,238
現金及び現金同等物の中間期末残高	660,336	1,673,039

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)及び当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは、レストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。